



2024年4月26日

各位

会社名 株式会社村田製作所
代表者名 代表取締役社長 中島 規巨
(コード: 6981、東証プライム市場)
問合せ先 財務戦略部長 北隅 かおり
(TEL. 075-955-6525)

2024年3月期連結業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

2023年10月31日に公表した2024年3月期連結業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期連結業績予想数値と実績値との差異(2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想(A) (2023年10月31日発表)	百万円 1,620,000	百万円 270,000	百万円 298,000	百万円 225,000	円銭 119.10
実績値(B)	1,640,158	215,447	239,404	180,838	95.72
増減額(B-A)	20,158	△54,553	△58,596	△44,162	-
増減率(%)	1.2	△20.2	△19.7	△19.6	-
(ご参考) 前連結会計年度実績 (2023年3月期)	1,686,796	298,231	302,683	243,946	128.64

(注) 当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。基本的1株当たり当期利益は当該株式分割後の金額です。

2. 差異の理由

2024年3月期連結業績につきましては、スマートフォンやモビリティ向けでコンデンサが増加したことや想定為替レートに対して円安が進んだこともあり、売上収益は前回予想数値を上回りました。一方で、リチウムイオン二次電池事業において、主としてパワーツール向けの需要拡大を見据えて将来に向けた増産投資を実行しましたが、コロナ禍における急激な需要増の反動減による在庫調整の長期化、またこれに伴う直近での販売低迷等を背景として収益性が大きく低下しております。その結果として、デバイス・モジュールセグメントを構成する円筒形リチウムイオン二次電池の設備等について減損損失49,482百万円を計上しており、利益面では前回予想数値を下回りました。

以上